

消費税、犀潟駅南口、遊具などで一般質問

日本共産党議員団は19日、20日、3議員が一般質問で登壇、消費税率引き上げなど論戦を展開しました。



日本共産党議員団のトップで質問に立ったのは橋本正幸議員。同議員は、農業用施設の管理、消費税増税問題を取りあげました。

このうち、消費税増税については、「市内経済の現状をどう認識し、増税によって低所得者などの生活弱者、中小事業者にどのような影響が生じると考えているか」「増税をやめるよう国に申し入れをすべきと考えるかどうか」と市長に質問しました。

これに対して市長は、市内経済の現状について「市内全体では回復基調にあるものの、消費者の節約志向や事業者間の競争激化などの影響から、小規模な事業者を中心に、依然、景気回復を実感できない状況もある。また、雇用においては労働需要がひっ迫した状況が長く続いていることから、企業活動へ及ぼす影響を引き続き注視する必要があるものと認識している」とのべました。

しかし、消費税増税は今後の少子高齢化対策などの必要な財源だとして、「市から国へ消費税率の引き上げを行わないよう申し入れを行うことは考えておらない」と答えました。



上野議員は住宅リフォーム促進事業、地域経済活性化店舗等改装促進事業、犀潟駅南口の開設についてとりあげました。

平成30年度事務事業評価結果で、「消費税率10%への引き上げ後の一定期間をもって廃止する」とした住宅リフォーム促進事業、地域経済活性化店舗等改装促進事業については、これまで日本共産党議員団を代表して同議員が提案してきただけに、廃止する理由、関係団体との話し合いはどうなっているかと厳しく追及しました。

これに対して市長は、「(住宅リフォーム促進事業)は来年度で10年目を迎える本事業の所期の目的はおおむね達成したものと考えており、また、消費税率引き上げ後の需要の反動減を考慮し、『消費税率10%への引き上げ後の一定期間をもって廃止する』と評価した」と答えました。

上野議員はまた、犀潟駅を利用する大湊区や頸城区の町内会や住民などから南口開設の要望が以前にも増して高まっているとして、その実現への努力を求めました。

市長は、「地元の皆様の切実な願いと認識している」が「現状において、南口を整備することは極めて困難であることをご理解いただきたい」とのべました。今後、関係町内会等の運動が重要です。



橋爪議員は、遊具による子どもの事故防止、「自治体戦略2040構想」、学校給食無償化で質問を展開しました。

同議員が最初にとりあげたのは、子どもの遊具による事故防止。市内での事故実態と対策について質問しました。

答弁した市長は、平成29年度における公立の幼稚園・保育園及び小中学校で発生した遊具に起因する事故件数は、保育園で21件、小学校で28件、中学校で1件の合計50件に上ることを明らかにしました。そして、「公園や学校などに設置する遊具の管理に関し、安全対策等を規定した『遊具の安全確保に関する指針』及び当該指針に基づく具体的な手順書を定めた上で、日常点検に加え、年3回以上の定期点検を実施している。異常を認められた際には、速やかに修繕や使用禁止措置をとるなど、遊具の不具合に起因する事故発生への未然防止に努めている」などと答えました。

橋爪議員は昨年、市内で発生した事故を例に挙げながら、国交省の「遊具の安全確保に関する指針」の徹底と点検体制の強化を求めました。財務部長は、「国交省の指針を確認しながらブラッシュアップを図っていきたい」と答えました。

日本共産党上越市議員団ニュース
 No.623 2019年3月31日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)

上越市で与野党逆転を実現し、県議会を変えましょう!